



予算総額 748億1,085万円

— 平成18年度当初予算概要 —

平成18年度当初予算概要

今日の地方を取り巻く状況は、景気が回復基調にあるとはいえ、今後も大きな税収の増加は期待できず、また、国における三位一体の改革を受け、補助金の削減と移譲財源の不均衡、県補助金の削減など、今後も歳入は減少すると予測されます。一方、歳出においては、合併に

伴い県から市に移管される事業費が増加するほか、福祉施策の負担が依然として高い増加傾向を示し、財政運営は一層厳しさを増すことが予測されます。こうした状況のもと、新市として初の通年予算となる平成18年度当初予算は、市の新たなまちづくりのための第一歩となる予算であり、合併協議にお

る調整内容や新市まちづくりの基本方針となる新市建設計画で位置付けた施策や事業を着実に進めることを基本としました。しかし、市長就任後間もないことから、具体的な実施事業の検討に十分な時間をとることができなかつたため、人件費や施設維持管理などの経常的経費や旧市町から引き続き実施する事業を中心に編成しました。その結果、平成18年度の当初予算の総額は748億1,085万1千円となりました。その内訳は、次の通りです。

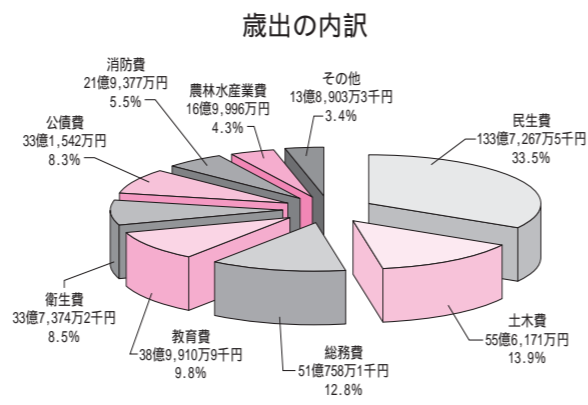
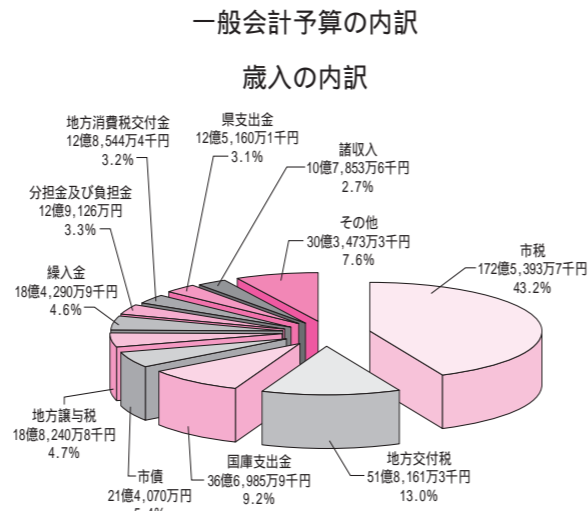
一般会計	399億1,300万円
特別会計	268億2,897万4千円
企業会計	80億6,887万7千円

歳入において、市の根幹をなす市税は、172億5,393万7千円（構成比43.2%）を見込みました。新規の施設整備やサービスの実施については、今後、補正予算を編成し、順次進めていく予定です。

会計別予算一覧

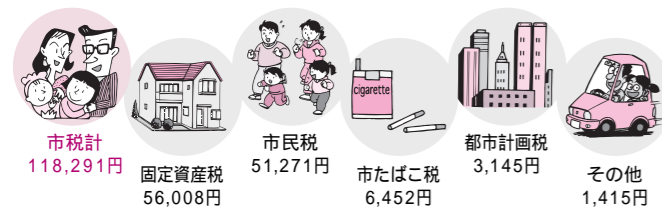
(単位：千円)

区 分	本年度予算額
一般会計	39,913,000
国民健康保険特別会計	12,570,147
老人保健特別会計	10,072,401
農業集落排水事業特別会計	2,166,245
国済寺土地区画整理事業特別会計	432,524
岡中央土地区画整理事業特別会計	154,803
武川中央土地区画整理事業特別会計	24,861
小前田駅北西部土地区画整理事業特別会計	315,303
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	25,748
公共下水道事業特別会計	1,066,942
小 計	26,828,974
企業会計	
下水道事業会計	3,953,041
水道事業会計	4,115,836
小 計	8,068,877
合 計	74,810,851

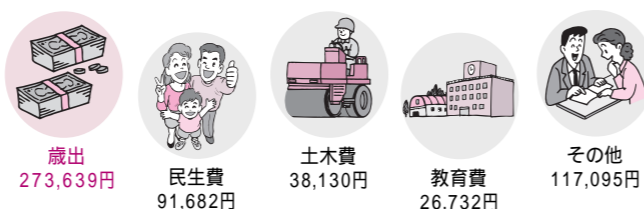


一般会計 市の会計の中心で、市の基本的な経費をまかなう会計です
特別会計 特定の資金で、一般会計と区別して事業を行う会計です
企業会計 民間企業のように、その事業だけで独立採算を図る会計です

市民の皆さん1人当たりが負担する税金



市民の皆さん1人当たりに使われるお金



一般会計予算（人口は1月1日現在の住民基本台帳人口145,860人で換算）

平成18年度施政方針(要旨)

市議会第1回定例会で新井市長が表明した、平成18年度施政方針についてお知らせします

私は、新生深谷市の市長選挙におきまして、市民の皆様より多大なるご支援をいただき、新生深谷市の初代市長としての重責を担わせていただくこととなりました。市民の願いを実現することが、初代市長である私に課せられた使命であると認識しております。

合併した各市町の歴史、文化、産業、そして豊かな自然とその個性を大切に引き継ぐとともに、この地域の魅力をさらに磨き、市民の皆様により「合併してよかった」と言われる、新しい深谷市を築きあげていくために、全力で市政運営に取り組み決意でございます。

私は、次の3つの基本理念に基づき、新市建設計画の7つの基本方針に表した7つのアプローチの実行により、市民皆様の願いを実現してまいります。

市政運営の基本理念

- 「次代を担う子どもたちを育てよう」
- 「地域の伝統と自然を守り、育てよう」
- 「公正・公平・公開の市政運営を進めること」

新生深谷市7つのアプローチ

- 1 快適な生活環境、安全・安心のまちへ
- 2 健康・福祉のまちへ
- 3 教育・文化のまちへ
- 4 便利で住みよいまちへ
- 5 活力ある産業のまちへ
- 6 市民主体のまちへ
- 7 行財政改革の推進

「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」という孟子の言葉があります。孟子は、事業を成就するためには、「人の和」が最も重要だとしています。私は、平成18年度「天の時・新市の誕生」に当たり、「地の利」を活かし、「人の和」を大切にしながら、この「新生深谷市7つのアプローチ」の実行により、新市の将来都市像を創出する「笑顔にあふれ活力を創出する しあわせ市民都市」を目指し、旧1市3町の融合による新たなまちづくりを進めてまいりますので、市民の皆様には、「一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。」